

「東京トヨペット～教育を応援～」Heartful Kitchenブースにて 鮎の瀬交流館こめ屋プロジェクト in ママハピEXPO!

12月6日・7日の二日間、鮎の瀬交流館こめ屋プロジェクトチームが東京お台場 MEGAWEB で開催された「東京トヨペットプレゼンツ ママハピ EXPO～ママのはたらくと子どもの教育を応援～」にて、白糸のPRと物産販売および注文会を行いました。

当日は、「水ものがたり」、「すげ米」の2種類のお米を中心に白糸の特産品を販売しました。小さなおにぎりを試食したお客様は「甘くて美味しい」「いつも食べているお米と全然違う」など好評で、用意した300gから5kgまでの各種のお米をその場で手に取り、あわせてみそ漬けなども購入する姿が見られました。

また、6日には「くまモン」も一緒にステージに立ち、白糸のお米と山都町のPRを行いました。

そして、今回は販売だけではなく、現地のお客様に注文票をお渡しして後日、山都町からまとまったお米を配達する「継続する繋がり」を目的としており、現在、注文が来ています。今後の白糸の活動に目が離せません!

白糸
こめ屋
東京



熊本から東京までお米と荷物を運んできたトラックも販売用ディスプレイです。



大人気の「お米のつかみどり」に子どもたちも夢中です。



ステージイベントにくまモン登場。この日一番の賑わいでした。



菅尾感謝まつり

11月23日、菅尾コミュニティセンターで菅尾感謝まつりが開催され、祭りの中で「今村岩戸神楽」の披露がありました。今村岩戸神楽は宮崎県諸塚村から江戸時代に今村地区に伝わり、無病息災や五穀豊穡を祈願して舞われていました。しかし、地区内の高齢化による後継者不足などにより、中断と復活を繰り返してきました。

最後に舞ったのが3年前。何とか昔から伝わる神楽を復活させたいと、今村岩戸神楽の保存会と地元の若手が昨年3月から練習を再開しました。保存会から舞を習い週1回の練習を重ね、今回菅尾感謝まつりで待望の舞を披露しました。演目は「東征」。すべての舞が終わると、地域住民からは大きな拍手と歓声が上がっていました。保存会の田上会長は、「いつの日か、神楽の全三十三座を復活させ、夜神楽などもできれば。」と話されていました。



数多くのお客様にお越しいただきました。



鮎の瀬交流館こめ屋プロジェクトチームのみなさん
左から 三浦祝弘さん、高屋恭子さん、こがまりさん、中原麻衣子さん
松川陽一さん、松本麻子さん、田嶋俊介さん

熊本県東京事務所の方々をはじめ、たくさんの方々の御協力のもと今回のイベントを行いました。